

地域の元気創造

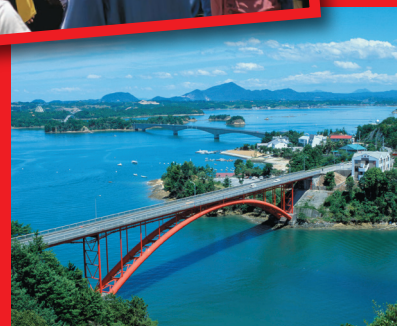
全国市町村長サミット 2017 in 熊本

日程 平成29年11月21日(火)・22日(水)

会場 熊本ホテルキャッスル 〒860-8565 熊本県熊本市中央区城東町4-2

参加
市町村長
募集

創造的復興に向けて。



地域の 元気創造

全国市町村長サミット 2017 in 熊本

人口減少の到来、地域間格差の拡大、コミュニティの脆弱化など難しい課題に直面している中において、日本経済の再生に向けて、地域の活性化を図っていくことが求められています。このため、全国の市町村長等が一同に会して議論・交流を行うことを通じて、地域活性化の一層の進展・普及を図ることを目的に、全国市町村長サミット2017in熊本を開催いたします。開催にあたり、全国の市町村長の方々、自治体職員や市民の方々等の一般参加者を募集いたします。

11月21日(火)

13:00 全体会 総務省挨拶 / 開催地挨拶

13:10~14:00 基調講演 村木 美貴 千葉大学大学院教授

14:15~15:55 分科会 3つのテーマの分科会に分かれ、各分科会のコーディネーターと発表される市町村長の方々に取組事例の発表と意見交換を行っていただきます。

第1分科会 災害時における地域コミュニティの役割

コーディネーター 室崎 益輝 兵庫県立大学大学院・減災復興政策研究科 研究科長・教授

第2分科会 住民の力による、地域の課題解決と資源活用(地域運営組織)

コーディネーター 作野 広和 島根大学教育学部教授

第3分科会 地域に根ざした暮らしと働き(移住(交流))

コーディネーター 藤山 浩 一般社団法人持続可能な地域社会総合研究所 所長

16:10~16:30 総務省政策説明 総務省地域力創造審議官

16:30~17:30 全体会総括 パネルディスカッション

各分科会での議論を踏まえて、総括コーディネーター、分科会コーディネーターで議論・検討を行います。

総括コーディネーター 飯盛 義徳 慶應義塾大学総合政策学部教授、博士(経営学)

17:45~19:15 市町村長交流会 市町村長等による意見交換、情報交換の場として交流会を実施します。(参加費4,000円)

11月22日(水) 現地視察 ※②1日コースは昼食代として当日1,300円をいただきます。

視察の流れ
(①半日コース/②1日コース)

8:30
熊本ホテルキャッスル

8:45~9:45
熊本城視察

10:30~12:00
益城町視察 テクノ仮設団地
役場旧庁舎
布田川断層帯

※①半日コース終了
(12:15熊本空港着/13:00熊本駅着)

12:15~13:15
阿蘇ミルク牧場 昼食

14:00~14:15
阿蘇大橋崩落現場視察

14:45~15:45
阿蘇神社・水基巡り視察

※②1日コース終了
(17:15熊本空港着/18:00熊本駅着)



①熊本城

1607年に加藤清正により築城され、宇土櫓などが国の重要文化財建造物に、熊本城全域が特別史跡に指定されている。昨年の熊本地震により、重要文化財建造物の全てが被災するなど、未だかつてない被害を受けたが、平成31年に天守閣を、20年後には城全体を再建することを目標として、着実に復旧に取り組んでいる。



④阿蘇大橋崩落現場

熊本地震により西側の斜面が長さ約700メートル、幅約200メートルにわたって崩壊する大規模な土砂崩れが発生し、JR豊肥本線や国道57号が崩落。阿蘇地域への交通の要衝であることから、観光面などに依然として大きな影響を及ぼしており、平成32年の開通に向け、現在、急ピッチで復旧工事を進めている。



②益城町テクノ仮設団地

震度7を2回記録するという未曾有の震災を経験した益城町では、町内18か所に1,562戸の建設型応急仮設住宅を建設した。特に、県下最大規模のテクノ仮設団地には、理容室や飲食店、八百屋等の仮設店舗やみんなの家(集会所)などを配置することで、生活環境及びコミュニティに配慮した仮設住宅団地を形成している。



⑤阿蘇神社

約2300年の歴史を有する阿蘇神社も、熊本地震により被災。楼門をはじめ国指定重要文化財の建物が損壊したほか、拝殿が倒壊するなど境内の建物に大きな被害を受けた。完全な復旧までには時間を要することから、一時的に仮の拝殿等を設置することで、現在も多くの参拝者を受け入れている。



③阿蘇ミルク牧場

搾乳やポニー乗馬などが楽しめる体験型牧場施設。日本で飼育されるのはめずらしいエアシャー種や大きな体特徴のブラウンスイス種など、世界の五大品種乳牛を飼育しており、自家製の乳製品やオリジナル肉製品を扱うショップやレストランなども併設している。



⑥水基巡り

阿蘇神社の参道に隣接する阿蘇一の宮前町商店街では、豊富な湧き水を活かした「水基(みずき)」と呼ばれる水飲み場を整備したことにより、商店街の散策を目的として多くの観光客が訪れるようになった。湧き水や地元産物を活用した様々な商品も人気を博している。

参加ご希望の方は、下記URLよりお申込をお願い致します。 https://conv.toptour.co.jp/shop/evt/kumamoto_summit/
また、FAXでのお申し込みも受け付けております。希望される分科会の番号(左記参照)、交流会・現地視察参加の有無と希望コースを下記申込書に記入の上、お申し込みください。(申込多数の場合は、ご希望に添えない場合があります。)
締切後、参加分科会等をお知らせする参加証を郵送します。

■参加対象者 市町村長、自治体職員、地域づくり団体関係者の方々の他、市民の方々等の一般参加者を募集いたします。

■参加費 サミット：無料 / 市町村長交流会：4,000円

お申し込みの流れ

① 専用サイトよりお申し込み… URL https://conv.toptour.co.jp/shop/evt/kumamoto_summit/
参加申込書のFAX送信… 送信先番号 FAX：03-5348-3799 申込窓口委託業者：東武トップツアーズ株式会社

② 参加証等の発送 参加分科会等の調整後、申込書記載の連絡先宛に参加証等を郵送します。

③ 参加費用の振り込み 市町村交流会に参加される方については、参加費用をご負担頂きます。
インターネットにてお申込の場合はマイページより、FAXにてお申込の場合は上記②記載の口座へ振り込みとなります。(振り込み費用はご負担願います。)

④ 当日来場受付 参加証をお持ちください。

参加申込書

申込締切日：平成29年10月31日(火)

連絡担当者名	ふりがな	連絡先住所	〒				-	
TEL		所属						
FAX		E-mail						
	氏名	職名	分科会(11/21)			交流会	現地視察(11/22)	
			第1希望	第2希望	第3希望	参加	第1希望	第2希望
1	ふりがな							
2	ふりがな							
3	ふりがな							
4	ふりがな							
5	ふりがな							
記入例	ふりがな 熊本 太郎	〇〇市長	③	②	①	○	② ①	
サミットの当日、参加していただいた市町村用のPRスペースを検討しております。PRスペース希望の有無を右欄にご記入ください。(スペースの都合により、調整させていただく場合もありますので、ご了承ください。)							PR希望	

申込等の個人情報については、本サミットに係る目的以外での利用はいたしません。

申込窓口

東武トップツアーズ株式会社 東京国際事業部 第2営業部 担当：長久保・斉藤(健)

〒160-0023東京都新宿区西新宿7-5-25 西新宿木村屋ビル16階 TEL：03-5348-3500 FAX：03-5348-3799

基調講演



むら き み き
村木 美貴 千葉大学大学院教授

日本女子大学家政学部住居学科卒業。横浜国立大学大学院工学研究科博士課程修了。博士(工学)。東京工業大学大学院助手、オレゴン州立ポートランド州立大学客員研究員、千葉大学助教授、准教授を経て、2013年同大学大学院教授。専門は都市計画。近年では、低炭素型都市づくり、官民連携、人口減少と都市構造に関心を持ち、研究を行っている。
地方制度調査会、社会資本整備審議会、交通政策審議会、中央環境審議会等委員を歴任。

分科会



第1分科会 災害時における地域コミュニティの役割



むら さき よし てる
コーディネーター 室崎 益輝 兵庫県立大学大学院・減災復興政策研究科 研究科長・教授

1967年京都大学建築学科卒業。神戸大学教授、消防研究所理事長、関西学院大学教授などを経て、2017年より現職。日本火災学会会長、災害復興学会会長、地区防災計画学会会長、消防審議会会長、ひょうごボランティアプラザ所長、ひょうご震災記念21世紀研究機構副理事長などを歴任。建築学会論文賞、火災学会賞、防災功労者総理大臣表彰、神戸新聞平和賞などを受賞。著書に、ビル火災、地域計画と防火、地震列島・日本の教訓など。



第2分科会 住民の力による、地域の課題解決と資源活用(地域運営組織)



さく の ひろ かず
コーディネーター 作野 広和 島根大学教育学部教授

1968年島根県生まれ。広島大学大学院文学研究科修了、同大助手、島根大学准教授を経て、2014年より現職。専門は農業・農村地理学、過疎・中山間地域論、GIS。総務省過疎問題懇談会委員、総務省地域運営組織の形成及び持続的な運営に関する研究会委員、農林水産省鳥獣害対策アドバイザー、島根県中山間地域研究センター客員研究員等。島根県江津市、邑南町、奥出雲町に研究室の分室「ラボ」を設置し、住民との協働による地域づくり活動を展開中。



第3分科会 地域に根ざした暮らしと働き(移住(交流))



ふじ やま こう
コーディネーター 藤山 浩 一般社団法人 持続可能な地域社会総合研究所 所長

1959年、島根県益田市生まれ。一橋大学経済学部卒業。博士(マネジメント)。(株)中国・地域づくりセンター、島根県中山間地域研究センター等を経て、2017年より現職。
国土交通省国土政策局「住み続けられる国土専門委員会」委員他、国・県委員多数。専門は、中山間地域論、地域マネジメント、地域人口分析、地域計画、地域経済。著書に「田園回帰1%戦略」(農文協)など。

全体会総括 パネルディスカッション



いさ がい よし のり
コーディネーター 飯盛 義徳 慶應義塾大学 総合政策学部教授、博士(経営学)

佐賀市生まれ。長崎県私立青雲高等学校卒業。上智大学卒業後、松下電器産業株式会社勤務。1992年 慶應義塾大学大学院経営管理研究科修士課程入学。1994年飯盛教材株式会社入社。2002年 慶應義塾大学大学院経営管理研究科博士課程入学。2005年 慶應義塾大学環境情報学部専任講師。2008年 同大学総合政策学部准教授、2014年 教授、2015年 SFC研究所所長就任。総務省、国土交通省、内閣府などの委員を務める。主著に「地域づくりのプラットフォーム」(学芸出版社)など多数。

パネリスト

- 村木 美貴 千葉大学大学院教授
- 室崎 益輝 兵庫県立大学大学院・減災復興政策研究科 研究科長・教授
- 作野 広和 島根大学教育学部教授
- 藤山 浩 一般社団法人持続可能な地域社会総合研究所 所長